平成３０年度　第６回研修会の記録

開催日　平成 31 年 1 月 26 日

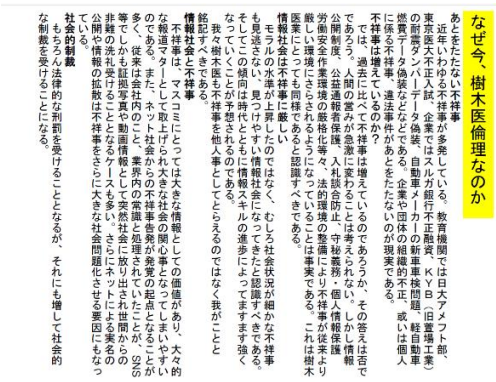
研修 ﾃｰﾏ	「樹木医の倫理」について	参 加 者	埼玉支部 21 名他県支部 1 名 一般 1 名　計 23 名
講　　師	椎名 豊勝樹木医（東京都支部長）	場　　所	Withyou さいたま 視聴覚ｾﾐﾅｰ室
資　　料	樹木医の倫理　P-point 資料	記　　録	成山 久広
目　　的	昨今、「樹木医」の職業が現代社会に認知され浸透しつつあるなか、「樹木医」とは何か今一度初心に戻り「樹木医」という専門技術者の社会倫理について、その遵守すべき基本理念及び原則を学び、樹木医の価値観を共有することで公衆の信頼を高めることに役立てることを目的とする。		

研修内容

第一部　人類と樹木の基本的関係や樹木管理の必要性

樹木医資格の変遷を経て資格制度確立がなされ、現在の社会的評価につながる経緯について講義を受けた。近年「樹木医」の認知度が向上するなか 樹木医倫理を今一度考察することが望まれる。

講義風景



なぜ今、樹木医倫理なのか

なぜ今、樹木医倫理なのか

あとをたたない不祥事

近年いわゆる不祥事が多発している。教育機関では日大アメフト部、東京医大不正入試、企業ではスルガ銀行不正融資、ＫＹＢ（旧置場工業）の新幹線ダンパーデータ偽装、自動車メーカーの新車車検問題、軽自車燃費データ偽装などなどである。企業や団体の組織的不正、或いは個人に係る不祥事、違法事件があとをたないのが現実である。

不祥事は増えているのか？

では、過去に比べて不祥事は増えているのであろうか、その答えは否でであろう。人間の営みが急激に変わることは考えられない。しかし情報公開制度、公益通報者保護、入札談合防止、守秘義務・個人情報保護労働安全作業環境の厳格化等々、法的環境の整備により不祥事が従来より厳しい環境にさらされるようになっていることは事実である。これは樹木医業にとっても同様であると認識すべきである。

情報社会は不祥事に厳しいのではなく、むしろ社会状況が細かな不祥事も見逃さない水準に見つけすいい情報社会になってきたと認識すべきである。そしてこの傾向は時代とともに情報スキルの進歩によってますます強くなっていくことが予想されるのである。

我々樹木医も不祥事を他人事としてとらえるのではなく我がことと銘記すべきである。

情報社会と不祥事

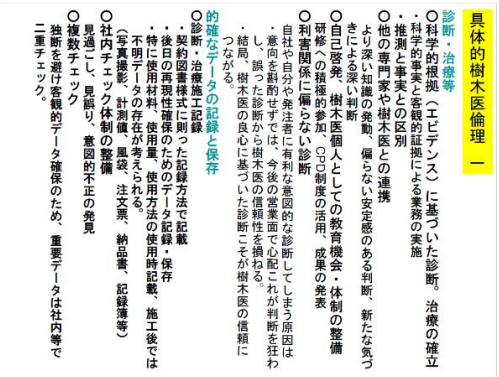
不祥事は、マスコミにとっては大きな情報としての価値があり、大々的な報道マターとして取上げられ大きな社会の関心事となってしまいやすいのである。また、ネット社会からの不祥事告発が発覚の起点となることが多く、従来は会社内のこと、業界内の常識と処理されていたことが、SZの等でしかも証拠写真や動画情報として突然社会に放り出され世間からの非難の洗礼受けることとなるケースも多い。さらにネットによる実名の公開や情報の拡散は不祥事をさらに大きな社会問題化させる要因にもなっている。

社会的制裁

もちろん法律的な刑罰を受けることとなるが、それにも増して社会的な制裁を受けることになる。

第二部　不祥事事例から見える社会的影響・損失

多業種による不祥事事例から見える社会的影響・損失、そこから得る教訓や遵守すべき法令についての講義を受けた。さらに「樹木医」としての具体的倫理とはなにか解説を受けた。



具体的樹木医倫理 一

診断・治療等

○科学的根拠（エビデンス）に基づいた診断、治療の確立

・推測と事実との区別

○他の専門家や樹木医との連携

より深い知識の発動　偏らない安定感のある判断、新たな気づきによる深い判断

○自己啓発、樹木医個人としての教育機会・体制の整備

研修への積極的参加、CPD制度の活用、成果の発表

○利害関係に偏らない診断

自社や自分や発注者に有利な意図的な診断してしまう原因は

・意向を斟酌せずは、今後の営業面で心配これが判断を狂わし、誤った診断から樹木医の信頼を損なう。

・結局、樹木医の良心に基づいた診断こそが樹木医の信頼につながる。

的確なデータの記録と保存

○診断・治療施工記録

・契約図書様式に則った記録方法で記載・保存

・後日の再現性確保のためのデータ記録・保存

・特に使用材料、使用量、使用方法の使用時記載、施工後では不明データの存在が考えられる。

（写真撮影、計測値、風袋、注文票、納品書、記録簿等）

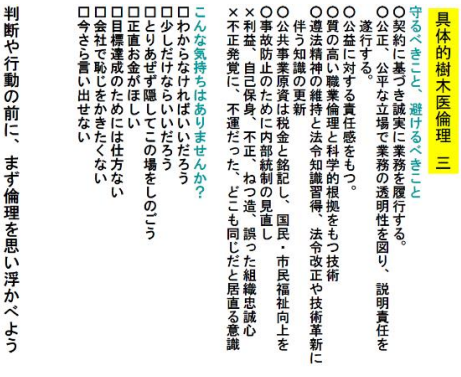
○社内チェック体制の整備

見過ごし、見誤り、意図的不正の発見

○複数チェック

独断を避け客観的データ確保のため、重要データは社内等で二重チェック。

具体的樹木医倫理１



具体的樹木医倫理 三

守るべきこと、避けるべきこと

○契約に基づき誠実に業務を履行する。

○公正、公平な立場で業務の透明性を図り、説明責任を遂行する。

○公益に対する責任感をもつ。

○質の高い職業倫理と科学的根拠をもつ技術

○遵法精神の維持と法令知識習得、法令改正や技術革新に伴う知識の更新

○公共事業原資は税金と銘記し、国民・市民福祉向上を

○事故防止のために内部統制の見直し

×利益、自己保身、不正、ねつ造、誤った組織忠誠心

×不正発覚に、不運だった、どこも同じだと居直る意識

こんな気持ちはありませんか？

□わからなければいいだろう

□少しだけならいいだろう

□とりあえず隠してこの場をしのごう

□正直お金がほしい

□目標達成のためには仕方ない

□会社で恥じをかきたくない

□今さら言い出せない

判断や行動の前に、まず倫理を思い浮かべよう

具体的樹木医倫理３

「樹木医」として安易な判断や行動の前にまず倫理を思い浮かべ、そこから始めることが大切である。そしてその真摯な実務が公衆の信頼を高めることにつながることが重要。